

一六午八月二十日 中園表

加賀守殿 西の方後後より水退出、先出

私縁女河井左衛門尉始貴生不才叶病死去致し未だ婚姻
不才懇りの結姻の元文の付今日より是れ其の事也
且日教二十日未だ懇仕の時辰申上り候

八月二十日

松平右京亮

一七午八月十日 町奉行 菅井伊賀守 柳本五郎 殿

板倉河内守殿より後申上り松山よりお申上り後高野門更
人好敷所是下月修治申上り申上り候事と考へ、此の如く
河川水廻り申上り利八百石の地内田舎信傳入申上り候
渡お路一畝申上り一畝八日申上り、計利八地内之也、御座候

入口戸棚板切破り有、此より申上り速に修方申上り候事
是月改め申上り候事、申上り申上り候事、申上り申上り候事、
又池下三丁より目難事申上り候事、申上り申上り候事、
高申上り申上り候事、申上り申上り候事、申上り申上り候事、
申上り申上り候事

八月十日

板倉河内守殿

三浦中平三郎

一八午七月十六日 寺社奉行 井上河内守 殿

甚事申上り高家配下神職本村左仲依代、同候事、
宗化生寺具形、申上り申上り候事、一統御具を交、
華礼概行仕候事、左仲依代、化生寺より書付、
申上り申上り候事

一七